

【五行・五臓の相生相克について】

五行の概念は、一つ一つが独立した概念ではなく、相互の関係が構築されています。

一つは相生（そうせい）であり、これは一つの概念が今ひとつの概念に対して促進的に働くという意味です。五行に当てはめると、木が火を生み、火が土を生み、土が金を生み、金が水を生み、水が木を生む、となります。

これに対し相克（そうこく）は、一つの概念に対し今ひとつの概念が抑制的に働くという意味をもちます。これを五行に当てはめると木は土に克ち、土は水に克ち、水は火に克ち、火は金に克ち、金は木に克つわけです。この二つの概念が同時に存在することにより、東洋医学の考え方が、常に生体全体のバランスを重視して考えていくことが理解されます。